

平成30年度 公益社団法人静岡県栄養士会定時総会 議案

日 時 平成30年6月9日(土)
10時10分～16時40分
会 場 静岡県男女共同参画センター
あざれあ 6F 大ホール
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

定 時 総 会 次 第

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 講 演 1
演題「企業の健康経営と生活習慣病予防～組織のヘルスリテラシーを高めるために」
講師 順天堂大学医学部総合診療科 准教授 福田 洋 先生
4. 表 彰 会長表彰
受賞者謝辞
5. 来 賓 挨 拶
6. 講 演 2
演題「静岡県の健康寿命延伸に向けた取組」
講師 静岡県健康福祉部医療健康局 健康増進課 課長 小嶋 由美 氏
7. 議長選出
8. 議事録署名人選出
9. 書記指名
10. 総会成立宣言
11. 議 事
 - (1) 第1号議案 平成29年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 平成29年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件
 - (3) 第3号議案 役員選任 理事承認の件
 - (4) 第4号議案 日本栄養士会代議員承認の件
 - (5) 報告事項 平成30年度事業執行計画について
 - ① 平成30年度事業計画の件
 - ② 平成30年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件
 - (6) その他
12. 講 演 3
演題「管理栄養士・栄養士に関わる診療報酬・介護報酬」
講師：青森県立保健大学健康科学部栄養学科 准教授 齋藤 長徳 先生
(公益社団法人 日本栄養士会 副会長)
13. 閉 会

会員各位

深緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃、正会員・賛助会員の皆様方には、栄養士会事業に多大なご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、先日実施いたしました（公社）静岡県栄養士会役員改選では、正会員各位のご支持をいただき、代表理事3名、職域理事7名、事業理事12名、日本栄養士会代議員7名と次点1名を選出する事ができました。奈良選挙管理委員長はじめ選挙管理委員の方々、投票くださいました正会員の皆様にあらためて感謝申し上げます。

さて、本会29年度事業では、会員スキルアップ事業の他、超高齢社会を乗り切るための国の政策であります「健康日本21」に関連する公益事業を数々取り組んでまいりました。

また、日本栄養士会の方針で全国展開する「よりソリプロジェクト」や「栄養ワンダー2017」8月4日（栄養の日）を国民に認知いただく「栄養士大会」、そして都道府県各栄養士会で展開する「栄養の日イベント」等々が、理事・運営委員・会員の皆様様の協力で実施できております。30年度は、これらの事業を引き続き行う事で、医療費・介護費を減少させ、多くの国民が健康に生涯を送れるエビデンスを出し、我々管理栄養士・栄養士の必要度が増すよう事業を展開していきたく思います。

数年後には、「世界栄養大会」を日本で開催すると安倍総理も宣言しております。世界の人々は日本の「和食文化」を健康長寿食と認めております。我々は、科学的根拠に基づき、正しい食生活と「栄養の指導」を推奨し、関連多職種や賛助会員と協力し、専門職種としてますます認知度が高まるよう、地域包括ケア等の公益的事業並びに会員のスキルアップ事業を実施したく、30年度事業計画に組み込みました。ご理解の上、ご審議くださいますようお願い申し上げます。

結びに、正会員の皆様の益々のご健勝とご多幸を、そして賛助会員の皆様には貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

平成30年 5 月 吉 日

公益社団法人 静岡県栄養士会
会 長 坪 井 厚

第1号議案

平成29年度事業報告（案）

1 公益事業

I 公1 科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業

（1）健康栄養知識普及事業

開催日	名 称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
5月29日	はままつ食育発信店事業	ユーコープ小豆餅店	木下初代	21	10
6月3日	第37回歯と口の健康大会	御殿場市民会館	山内千代香 平間香織	1,423	708
6月10日	第39回健康と歯のフェスティバル	裾野市民文化センター	荻野みづ江	749	255
6月11日	歯と口の健康週間イベント	プラサヴェルデ	山下祐美	218	152
6月17日	第12回おやま健康フェスタ	小山町総合体育館	稲 葉子 山内千代香	1,390	180
6月30日	はままつ食育発信店事業	ピアゴ浜松泉町店	木下初代	75	26
7月1日	健康フェア	静岡市南部保健福祉センター	金嶋祐子	270	42
7月1日	集団がん検診	龍山森林文化会館	森口知世枝	79	48
7月2日	集団がん検診	龍山保健センター	宮澤弘子	104	69
7月15日	健康まつり	静岡市長田保健福祉センター	成澤好美	185	39
7月22日	はーとふるプラザ感謝デー	はーとふるプラザ袋井	原田陽子 谷川照代	300	200
7月23日	健康まつり	静岡市北部保健福祉センター	金嶋祐子	668	65
9月24日	健康まつり	湖西市健康福祉センター	池田雅美 本多美恵子	1,327	205
9月27日	はままつ食育発信店事業	遠鉄ストア フードワン南浅田店	上田規江	105	28

開催日	名 称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
10月1日	健康まつり	静岡市東部保健福祉センター	村松路子	711	37
10月15日	健康まつり	静岡市大里保健福祉センター	石垣史子	250	33
10月15日	健康フェア	掛川市徳育保健センター	山本さとみ 松田壽子	1,800	110
10月28日	伊豆市社会福祉大会	伊豆市生いきプラザ	宮地あけみ	2,000	120
10月29日	フードスマイルフェスティバル inふじえだ 食育フェア	藤枝市武道館	木村郁代 小野田美津子	6,000	250
10月29日	みさくぼふれあい健康福祉まつり	水窪保健福祉センター	森口知世枝 坂口ひろみ	250	71
11月11日	健康まつり	静岡市城東保健福祉センター	金嶋祐子	1,676	44
11月12日	ふるさとまつり	黄金崎クリスタルパーク	佐野ちえみ	3,800	40
11月12日	健康フェスタ	伊東市健康福祉センター	西島一恵 稲葉奈美江	751	56
11月12日	市民すこやかふれあいまつり	三島市立市民体育館	神尾房子 國武淑子	7,000	100
11月19日	健康福祉ふれあい広場	東伊豆町保健福祉センター	鶴丸さやか 稲葉杏子	594	200
11月25日	食育フェスタ2017	清水町役場	大場洋子	1,271	125
11月26日	まきのはら産業フェア	牧之原市本通り商店街から新町遊ロード	木村郁代 増田姫誉美	18,000	500
12月9日	スポーツ&健康フェスタinふじえだ	藤枝市武道館	木村郁代 増田姫誉美	3,000	500
計		28	40	54,017	4,213

(2) 健康づくり啓発協力事業

開催日	会 場	内 容	担当栄養士	参加人数
8月3日	ツインメッセ静岡	栄養の日・栄養週間「栄養ワンダー2017」イベント 日本栄養士会が8月4日を「栄養の日」、8月1日～7日を「栄養週間」と制定し、国民が栄養と健康について考えるきっかけづくりとなるよう、また、管理栄養士・栄養士の社会的使命の普及啓発を目的として実施した。 当日は、協賛社によるキウイフルーツと野菜ジュースによるサンプリング、「栄養ワンダーブック」を配付した。	福山易枝 矢ノ下聖子 秋谷喜志子	1,000
8月19日	静岡県総合健康センター	栄養の日・栄養週間「栄養ワンダー2017」イベントを実施 静岡県総合健康センター「県民の日」イベントにて、栄養士会コーナーを設置し、上記事業と同じ内容で実施した。	永田順子 赤堀摩弥 日置朝子	210
9月16・17日	ツインメッセ静岡	ふじのくにケアフェスタ2017 現場の魅力発信ブースでの栄養士会からの情報提供など 福祉栄養士の仕事紹介（パネル展示）、栄養士のおすすめメニューの紹介・クイズ、リーフレット等配布	石垣範子・大橋路代 神戸千恵子・田森総浩 寺田直哉・油井会員	600
10月7・8日	ツインメッセ静岡	しずおか元気応援フェア2017 静岡県給食協会と連携し、インボディの測定結果から栄養相談を実施 栄養に関するポスターを展示し、リーフレット等を配布 野菜クイズの展示等	鈴木愛美・梶本彩乃 高橋玲子・佐々木華子 大瀧友恵・神戸千恵子 石垣範子	239
10月28日	サンウェル沼津	沼津市いい歯のイベント 「バランスの良い食事でカルシウム摂取を」をテーマに、上手なカルシウムのとり方等について伝達 南瓜のミルク煮の試食を提供し、随時栄養相談を実施 カルシウム摂取に関するポスター掲示、リーフレットの配布 カルシウム補強食品の試供品の配布、高齢者の筋力アップ（骨折予防）、エネルギー補給や筋力アップの食事についての紹介等	斉藤裕子	350
12月6日	ブラサヴェルデ	しずおか健康づくりサポーター連携・協働のつどい（東部会場） 減塩をテーマに、トマトケチャップを活用した豚汁を試食で提供 減塩啓発のパネル展示及びリーフレットの配布 天然だし等減塩に関する試供品の配布 味噌汁の簡易塩分測定	大瀧友恵	143
1月13日	アクトシティ浜松 展示会場	ふじのくに食と花の都の祭典 しずおかの食材で健康づくり 静岡やさいクイズ（幼児用・小学生用） おはしゲーム（大豆・アルミボール・スポンジ） パンフレット配布	原田恵子・福山易枝 林萌々子・菅野廣一 原田陽子	750
2月16日	アクトシティ浜松 コンgresセンター	しずおか健康づくりサポーター連携・協働のつどい（西部会場） 塩分相当量クイズ（参加者に天然だしパック提供） 健康レシピ配布	原田陽子・菅野廣一	199

(3) 在宅介護者食生活支援研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
11月18日	静岡県総合健康センター	「食べる楽しみ」を続けよう！ 高齢者の在宅での食事ってどうすればいいの？ 〈第1部〉ミニシンポジウム ～在宅での食事ってどうすればいいの？～ 〈第2部〉体験してみよう ①食べる機能を守る口腔体操 ②とろみのつけ方と食事の形態	〈第1部〉 コーディネーター 静岡県健康増進課 佐藤圭子 三島総合病院 管理栄養士 荻野由夏 伊豆の国市大仁地域包括支援センター 介護支援専門員 伊東澄子 〈第2部〉 歯科衛生士 村松美枝子 管理栄養士 寺田直哉	15

(4) 幼児から始める食育講座事業【静岡県地域農業課委託事業】

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
6月24日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食育推進リーダー研修会 ふじのくに多彩な和の食文化の推進について 和食で食育―地域の食の伝承 〈グループワーク〉	静岡県経済産業部農林業局地域農業課 地域農業班 主任 田中 弘太 常葉大学健康プロデュース学部健康栄養学科 准教授 川上 栄子 〈担当：地域活動事業部 理事〉	31
10～1月	幼稚園等 東部2ヶ所 中部1ヶ所 西部3ヶ所	【出前講座】 講義：乳幼児期に必要な栄養・食生活について、和の食文化の良さについて（日本型食生活）、お米の良さと朝食の大切さについて、地産地消の意義について（県内農産物の利用）、食事バランスガイドの理解、活用 展示・実演：地場産食材説明・料理作り方の説明	（食育推進リーダー） 東部：①長坂久美子・勝又久美 ②池谷広美・前田悦子 中部：①石垣範子・窪田恵子 西部：①原田陽子・藤田紀子 ②原田陽子・山崎靖晃 ③山崎靖晃・八木寛奈	100

(5) しずおか健幸惣菜レシピ募集等業務【静岡県健康増進課委託事業】

静岡県では、「ふじのくに食育推進計画」に基づき、ライフステージに応じた望ましい食生活の実現を目指し、食の環境づくりを進めており、社員食堂や弁当業者、スーパー等の惣菜において健康に配慮したメニューの提供を広めることにより、それらを多く利用している働き盛り世代が望ましい食生活を実現できるよう環境整備を行うための事業。 ①「しずおか健幸惣菜」選定の基準検討会の開催 「しずおか健幸惣菜レシピ」の募集に向けて「しずおか健幸惣菜」選定の基準の検討を行うとともに、「しずおか健幸惣菜レシピ」の普及方法等について検討を行った。 検討会開催日：第1回 9月21日 ・ 第2回 12月11日 ・ 第3回 3月8日 検討会委員：静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命学科 准教授 市川陽子 常葉大学健康プロデュース学部健康栄養学科 准教授 川上栄子 惣菜製造関係者、事業所給食関係者、静岡県健康福祉部理事等 8名 ②「しずおか健幸惣菜」の募集・選定 募集要領を作成し、静岡県内の給食施設、弁当業者、スーパー等を対象に、募集を行った。 募集期間：10月16日～11月30日 応募レシピ数：31 選定レシピ数：25 ③「しずおか健幸惣菜レシピ集」原稿の作成 材料・調理方法・応募者によるレシピのアピールポイント、コメント及び料理写真を掲載し、作成した。				
---	--	--	--	--

(6) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

食品表示法施行（平成27年4月）による加工食品の栄養成分表示義務化に伴い、一般県民及び食品加工業者を対象として制度の普及啓発を行った。一般県民に向けては、普及啓発用リーフレットを11,000部作成し、講話を行った。食品加工業者に対しては、講習会用テキストを450部作成し、県内3カ所で講習会を開催した。

開催日	会 場	内 容	講師等	参加人数
5月23日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食品表示制度説明会 （静岡県健康づくり食生活推進協議会総会）	会長 坪井 厚	298
10月6日	掛川市生涯学習センター	静岡県栄養成分表示作成講習会 ・食品表示制度について ・栄養成分表示の算出方法について ・栄養成分表示の表示方法について	静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生命科学科 准教授 市川陽子 東海大学短期大学部 食物栄養学科 助教 遠藤泰子 静岡英和学院大学短期大学部 食物学科 助手 佐藤美紀 静岡県栄養士会地域活動事業部 理事 池谷 広美	82
10月27日	富士市勤労者総合福祉会館 ラ・ホール 富士			63
11月17日	焼津市総合福祉会館 ウェルシップやいづ			144

(7) 外食栄養成分表示推進事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

実施時期	会 場	内 容	担当栄養士	参加店舗数
5～2月	富士宮市内の飲食施設	協力店・登録店の募集、協力店等の食事バランスチェック表示の確認、栄養成分表示計算及び表示作成、地産地消登録店メンテナンス、マップ配付、食飲名簿の作成	地域活動事業部 田山恵子・芦澤裕子・ 金塚円花・中野英美 三浦順子・若林恭子 竹川美江・長田みのり 渡邊光世	指導及び 相談 延べ30 メンテナンス 69
		＜健康を考えるランチセミナー＞ 「健康な食事」に関する講話と地産地消メニューの 会食	若林恭子・田山恵子	16

(8) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会 場	内 容	担当栄養士	参加店舗数
6～2月	静岡県内の飲食施設	店頭商品の栄養価計算 栄養成分表示の指導	地域活動事業部 佐野ちえみ・長田みのり 近藤真紀・渡邊恵美子 小野田美津子	東部 2 中部 3

(9) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会 場	内 容	担当栄養士	参加人数
11月15日	松崎高等学校	高校生を対象とした講習会 ・食事バランスガイドの説明 ・簡単な野菜料理実習	佐野ちえみ・稲葉杏子・小林祐	27
10月17日	静岡農業高等学校		青島千恵・小野田美津子	23
10月24日	静岡農業高等学校		青島千恵・小野田美津子	17
5～2月	学校、健康まつり等 県内29箇所	外食推進ガイドブック「副菜（野菜料理）お“ひと つ”召し上がれ」を活用した食事バランスガイド啓 発活動	地域活動事業部 山内千代香 他 約60名	(配付数) 2,960冊

(10) 指導者のための健康栄養セミナー【(公社)日本栄養士会委託事業】

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
11月3日	ニッセイ静岡駅前ビ ル	女性アスリートのためのスポー ツ栄養学	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授 鈴木志保子	109
		ジュニアアスリートと栄養士 ―食事・睡眠・運動―	中京大学スポーツ科学部 競技スポーツ科学科 教授 湯浅影元	

(11) 栄養ケア・ステーション推進事業

登録者数	管理栄養士 219名 ・ 栄養士 28名	計 247名
------	----------------------	--------

①静岡市静岡医師会との定例会議

第1回	開催日:7月10日 会場:静岡市静岡医師会館 出席者:静岡県栄養士会(坪井会長・新井副会長・久保田理事・鈴木理事・事務局鈴木) 静岡医師会(袴田会長・福地副会長・鈴木理事・吹田理事・飯室理事・事務局鈴木) 内 容:「管理栄養士を雇用していないクリニックへのサポートについて」静岡県栄養士会より提案 他 講演「栄養士・管理栄養士制度、雇用について」(講師:日本栄養士会 早野貴文弁護士)
第2回	開催日:1月15日 会場:静岡市静岡医師会館 出席者:静岡県栄養士会(坪井会長・岡本副会長・新井副会長・久保田理事・鈴木理事・森田久美子会員・事務局鈴木) 静岡医師会(袴田会長・福地副会長・鈴木理事・吹田理事・飯室理事・事務局鈴木) 内 容:合同研修会の報告と今後について 平成30年度診療報酬改定に関する情報提供 他
「静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会」 開催日:10月12日 会場:静岡市静岡医師会館 参加者:医師27名、医療機関17名、栄養士会会員33名 計77名 内 容: 演題「脂質異常症患者に対する栄養指導の基礎と実践報告」 講師 静岡県栄養会 新井英一副会長	

②業務従事者研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
4月1日	大塚製薬株式会社静岡出張所	ウエルネスセミナー (働き世代の栄養学・カラダづくりと栄養・スポーツ時のコンディショニング他)	日本栄養士会 理事 鈴木志保子 (衛星放送による多会場同時研修)	25
4月15日				22

③職業紹介事業

求人数(本年度新規)	44件
求職者数(本年度新規)	11名
職業紹介者数	延べ14名
雇用契約成立数	10件

④受託事業

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
特定保健指導	10	143	143	㈱ホームナース	トヨタ販売連合健康保険組合 エディオン健康保険組合 スズケン健康保険組合 倉敷紡績健康保険組合 面談・電話支援 (44人)
	18	63	119	テンプスタッフ・ライフサポート㈱	ホンダ健康保険組合 (ショーワ浅羽工場・ ショーワ御殿場第一工場・ ショーワ御殿場第二工場・ ホンダロジスティクス静岡) 富士フイルムグループ健康保険組合 (富士フイルム吉田南・ 富士ゼロックス) 面談 (285人)
	1	19	21	特種東海健康保険組合	島田工場 初回・中間面談・電話支援 (24人)
	1	3	1	静岡県医師国民健康保険組合	診療所の職員 面談 (1人)
小計	30	228	284		
病態栄養 食事指導	1	1	1	富土市難病団体連絡協議会	難病患者総合相談会での個別栄養相談 (1人)
	1	49	49	富士通㈱沼津工場	個別栄養食事指導 (396人)
	4	4	7	静岡県腎友会	市民健康セミナー・東・中・西部料理講習会 (153人)
	12	12	12	ホトニクス・グループ健保	病態栄養食事指導 (23人)
小計	18	66	69		
在宅介護支援	8	8	8	浜松市	浜松市栄養改善普及啓発事業 (137人)
	9	9	9	㈱ホームナース	前期高齢者訪問相談事業 (5人)
	1	12	12	㈱リハライフサポート	島田市げんき教室の講義及び個別指導 (88人)
	2	2	2	静岡市地域包括ケア本部	介護予防支援従事者及び住民向け講演 (200人)
	1	1	1	焼津市介護支援研究会	多職種連携における栄養の役割の講演 (80人)
	1	1	1	みどりや薬局	認知症カフェにおける講演 (介護食) (18人)
小計	22	33	33		
食育支援	34	34	34	静岡市	あそび・子育ておしゃべりサロン事業 (市内こども園：未就園児対象) (392人)
	43	43	43	一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会	5 A DAY食育プログラム・食育体験学習 大型スーパーの食体験ツアー講師 (1,001人)
	3	4	8	静岡県牛乳普及協会	骨密度測定会後の栄養相談 (582人)
	7	7	7	大塚製薬㈱	講演「ウエルネスセミナー」 (696人)
	2	2	4	しずおか健康長寿財団	ベビーフェスタ・清水町食育フェスタ (3,271人)
小計	89	90	96		
食と健康支援	1	1	1	静岡県生活衛生営業指導センター	講調理師養成施設の学生向け講演講師 (45人)
	1	5	5	ホトニクス・グループ健保	ホームページ掲載レシピ (5点)
	15	74	74	日本盲導犬協会富士ハーネス	施設利用訓練者の食事調理・提供 (48人)
	1	1	2	東部婦人センター運営協議会	やさしい在宅でできる防災活動 講師 (60人)
	1	1	2	そなえざあ〜しぞ〜か	介護施設向けBCP特別研修講演及び調理実習 (5人)

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
食と健康支援	1	2	2	明光会	知的障害者居宅介護職員初任者研修講師 (4人)
	1	1	1	長野県栄養士会	災害時緊急対策対応研修会講師 (50人)
	1	18	18	静岡県食品衛生協会	調理師試験準備講習会講師 (227人)
	1	41	47	西部健康福祉センター	災害時の栄養について講演講師 (15人)
	1	1	1	日本ドッジボール協会	公認準指導員資格取得課程の講師 (12人)
	1	2	2	栄養士養成施設協議会	実習生に関する情報提供 (19人)
	1	3	3	牛乳普及協会	料理コンクール審査 (522点)
	1	1	2	リハビリテーション専門職協議会	災害リハ実務者研修講師 (30人)
	1	1	1	しずおか健康長寿財団	ライフプランセミナー講師 (86人)
	1	1	1	㈱トップアスリート	マイナビ進学FEST A社会人アドバイザー (25人)
小計	29	153	162		
外食栄養成分表示	1	9	9	富士宮市フードバレー	地食健身レシピカード作成
小計	1	9	9		
合計	189	579	653		
その他	取材：静岡県立沼津東高校新聞部、朝日テレビ 等				

(12) 県民栄養調査に関する事業

公益法人の公益活動の一環として、静岡県内の在宅介護における栄養ケア等についての現状を把握し、静岡県栄養士会の今後の地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みの参考資料とするため、「地域包括ケアに関する調査」を行った。
 調査対象：静岡県内の地域包括支援センター 146か所
 調査の時期：平成29年5～6月
 回答数：83か所（回収率56.8%）

(13) 広報事業

開催日	内容(広報部)	回数等	内容(情報管理)	回数等
4～3月	広報部会	2回	受信メール処理件数	5,434件
	メール部会	2回	送信メール処理件数	4,864件
	ホームページ更新(月2回)	23回	研修会、交流会等のWeb受付数	28件 1,430名
	メールマガジン配信(月2回)	23回	【研修会、交流会の申込み 全体 2,444名】	(全体の約58.5%)
	栄養士がすすめるメニュー応募数	6件	メールマガジン登録者数(新規登録者数)	758名(99名)
	ホームページアクセス数	16,750件		

II 公2 県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 定時総会講演会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
6月3日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	静岡県の健康課題の現状と取り組み 管理栄養士・栄養士の知識で日本をもっと元気に！ ～バランスよく食べる、朝食の意義を再確認してみませんか？～	静岡県健康福祉部健康増進課 課長 小嶋由美 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授 鈴木志保子	136

(2) 栄養士交流会

開催日	会 場	目 的	内 容	参加人数
12月10日	【東部ブロック】 日本大学三島校舎	・非会員にも参加を呼び掛け、静岡県栄養士会がどのような活動をしているか自作のDVD等により周知し、理解を深める。 ・管理栄養士・栄養士の資質の向上に向けた研修会申込方法などを理解する。 ・同じ分野及び年代を超えて活動する仲間づくり、情報共有をする。	研修会終了後に開催した。 管理栄養士・栄養士として飛躍するために。皆で考えよう。 栄養士会の活動、各事業部、地区研修の紹介 他	27
5月27日	【中部ブロック】 グランシップ		(メディケア・フーズショー)の会場において、非会員の栄養士にも呼び掛け、栄養士会の紹介、情報提供、意見交換などを行った。	12
9月9日	【西部ブロック】 浜松市福祉交流センター		西部ブロック研修会終了後に、「近くの栄養士、管理栄養士を知ろう」をテーマに、栄養士会の活動・各事業部・地区研修会の紹介などを行い、情報交換を行った。	29

(3) 静岡県栄養士大会学術研究会・交流会

開催日	会 場	ポスター発表内容	発表者	参加人数
2月10日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	①運動選手の食事における糖質摂取比率が身体組成に及ぼす影響について	小山ゆう	106
		②非常食を活用した防災教育の取り組みについて	戸田知里	
		③女子新体操選手のウェイトコントロール	河村美樹・青島千恵	
		④拭取りアデノシン三リン酸検査法とスタンプ培地法を用いた病院調理場の衛生実態と整合性に関する検討	勝亦奈緒美・青山高	
		⑤病院調理場環境表面における拭取りアデノシン三リン酸検査法を用いた次亜塩素酸ナトリウム水溶液の影響	青山高・勝亦奈緒美	
		⑥こども病院からの食物アレルギー情報発信ー管理栄養士だからできる支援ー	桑原里沙	
		⑦大規模学校給食センターでの地産地消の推進	小林恭子	
		⑧リン吸収に対する高脂肪食摂取の影響	新井英一	
		⑨特定健診結果から湖西市の弱点を克服するために	三浦文代	
		⑩通所リハビリテーションでの栄養改善の取組について	村越いづみ	
		⑪食品表示・適正化活用普及事業の報告	池谷広美	
		⑫静岡県における60歳以上住民の食の地域差の検討	赤堀摩弥	
		⑬MCTオイルを用いた栄養量増加の取り組み	小関香里	
		⑭東部栄養サポートの会 発足と活動報告	白石明子	
		⑮栄養士養成における校外実習の指導方法の検討	葛城裕美	
		⑯しずおか健康づくりサポーターとしての食育活動	伊藤梓美	
		⑰薬店スタッフへの食を通しての健康情報提供	石橋綾恵	
		⑱栄養の日・栄養週間2017」の当院の取り組みについて	梶本彩乃	

(4) 生涯教育基本研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
3月11日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	チーム(多職種)による栄養管理(DVD)		52
		栄養管理記録(DVD)		53
		栄養管理記録演習	理事 古橋啓子	50

(5) 生涯教育実務研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
6月25日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	給食管理システム研修会	栄養管理普及会 菅野廣一	14
7月2日	静岡AOI	栄養診断	臨床栄養実践協会 理事長 足立香代子	162
		180度変わったアブラの考え方および病院給食とガイドラインの矛盾		165
7月29日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	新栄養管理システム研修会	栄養管理普及会 若林恭子	3
8月26日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食物アレルギー対応研修会	静岡県立こども病院 管理栄養士 鈴木恭子	96
9月30日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	サルコペニア、フレイルティの進行を防ぐための栄養管理	沖縄メディカル病院 あがりばまクリニック院長 金城大学 客員教授 吉田貞夫	124
		認知症の摂食障害の問題点とその対策 最短トラブルシューティング		126
10月22日	日本大学三島校舎	栄養管理に役立つフィジカルアセスメント	済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長	52
		水・電解質管理 経口から輸液まで	谷口英喜	53
12月2日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	これからの生活習慣病予防対策	あいち健康の森 健康科学総合センター長 津下一代	82
		「特定保健指導のスキルアップに向けて」 困難事例の検討	日本栄養士会特定保健指導担当 管理栄養士 菊地眞代	52

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
2月10日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	地域包括ケアシステムへの管理栄養士の参画 ～京都での挑戦～	愛正会山科病院消化器外科部長 荒金英樹	72
		第3回静岡県栄養士大会 学術研究会・交流会	—	106
3月18日	静岡赤十字病院	栄養ケア寄り添い型ソリューション事業 (よりソリプロジェクト) 研修会	日本栄養士会よりソリプロジェクト ワーキングメンバー	49

(6) 福祉寺子屋

開催日	会 場	内 容	担当者	参加人数
6月17日	特別養護老人ホーム静光園	栄養ケアマネジメントの考え方・提供方法・食育などの グループワーク	福祉事業部 理事・運営委員	11
10月28日	静岡県栄養士会事務所	栄養ケアマネジメントの考え方・提供方法・食育などの グループワーク		6
1月13日	サンウェル沼津	全国福祉栄養士研修会の情報提供・栄養ケアマネジメント・人材について・災害時の対応など		4

(7) 統計講座

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
9月3日	日本大学短期大学部	パワーポイントによる教育媒体作成研修会	日本大学短期大学部 准教授 篠原啓子	15
2月18日	東海大学短期大学部	調査研究のための研修会 多様なニーズに対応できる管理栄養士・栄養士のための 調査研究のはじめ方	浜松医科大学医学部健康社会医学講座 助教 岡田栄作	26
		研究計画の作成		20

(8) 地区別健康づくり推進研修会

①地区代表者会議： 参加者 (各地区代表者、副会長、地区事業部理事、研修部理事)

開催日	議 事 内 容
4月23日	①生まれ変わる栄養士会 ・栄養士会の運営について ・研修部について ・地区別健康づくり研修会、地区イベントについて ・県等の主催・共催のイベントについて ・健康栄養知識普及事業について ②地区別健康づくり研修会 今年度の事業計画について ・各地区の研修会等の予定 ③事業報告書類及び会計報告について

②ブロック研修会

地 区	開催日・会 場	内 容	講 師	参加人数
東部 ブロック	12月10日 日本大学 三島校舎	静岡県東部の健康・栄養状況について		27
		幼児期の食の現状(伊豆市)	伊豆市こども課 大瀧友恵	
		県東部地域の健康課題とその背景	静岡県健康増進課 赤堀摩弥	
		地域のニーズに応えた栄養支援	田方地区在宅管理栄養士 宮地あけみ	
中部 ブロック	9月26日 静岡県男女共同 参画センターあざれあ	腎臓病の病態と栄養管理	静岡済生会総合病院腎臓内科 臨床検査センター 戸川 証	66
西部 ブロック	9月9日 浜松市福祉交流センター	摂食障害の病態と治療	浜松医科大学精神科神経科 栗田大輔	53

③各地区の研修会

地 区	開催日・会 場	内 容	講 師	参加人数
東伊豆・ 賀茂	3月22日 伊東市健康福祉センター	地域包括ケアシステムについて 情報交換会・交流会	伊東市対島地域包括支援センター 土屋康美	26

地 区	開催日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加人数
東 部	8月20日 裾野市市民文化センター	栄養アセスメント研修会 (DVD) 「今、栄養に関して気になることは？」をテーマに意見を交換して交流を深めた。	—	8
	11月19日 裾野市市民文化センター	栄養診断研修会 (DVD)	—	4
富士・富士宮	10月11日 富士いきいき病院	便秘・下痢、腸内細菌とビフィズス菌のはなし 〈交流会〉栄養士の交流を深めよう (情報交換会)、栄養士会の活動紹介 他	榎クリニコ 石川里奈	16
清 庵	7月9日 清水岡生涯学習交流館	生化学で学ぶエネルギーを得る仕組み	静岡大学 名誉教授 森 誠	26
中 部	7月27日 静岡県男女共同参画センターあざれあ	今から取り組むHACCP (ハサップ) について	静岡市保健所食品衛生課主任 獣医師 浅沼貴文	24
志太・榛原	7月21日 藤枝市生涯学習センター	「脂質異常症」研修会 あぶらとコレステロール	静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 新井英一	44
	1月27日 808FACTORY他	地場産業を知る (工場見学)		15
中東遠	10月17日 袋井市月見の里学遊館	災害に備える「栄養士会災害支援チーム (DAT) の活動について」 〈交流会〉アレルギーっ子の会主催イベントへの協力について、グループワーク 等	浜松医科大学医学部付属病院 栄養部 副部長 渡邊 潤	28

④地域住民への健康づくり啓発活動

地 区	開催日 ・ 会 場	内 容	従事者数
田 方	10月28日 修善寺生きいきプラザ	「伊豆市社会福祉大会」へ参加【参加者 約1,500名】 テーマ「減塩」 減塩メニューの提案、レシピや減塩関連試供品の配付、試食、栄養相談 等	3
中 部	8月6日 ツインメッセ	「JA静岡市合併25周年記念イベント」へ参加【参加者 約2,200名】 生活習慣病 (糖尿病・脂質異常症・高血圧・高尿酸血症) における食生活相談、子どもと栄養、体重コントロールの必要性と方法、外食・嗜好食品 (アルコール・菓子類) の危険性と成分説明他	4
志太・榛原	10月29日 藤枝市民体育館・武道館	「第4回フードスマイルフェスティバルinふじえだ 食育フェア」に参加【参加者 約6,000名】 一もしもの時に備えて—あなたの準備は大丈夫？ 備蓄品を利用した試食 (鮭フレークごはん)、非常持ち出しリュックの展示、子ども向けクイズ、アンケート、栄養相談コーナー	6
中東遠	9月24日 掛川市生涯センター	「かけがわこどもアレルギーの会・ママバトン・MAYUKOMIYAGI」主催【参加者 約2,500名】 「こどもと暮らし展〜来て、見て、知ってほしい！アレルギーっ子のせかい〜」へ参加 食物アレルギーの成分表示について (パネル展示) 非常食の展示、栄養相談、非常食アンケート、チラシ等配布	10
	12月2日 掛川市文化センター		10
西 部	2月10・11日 浜松市高台協働センター	「高台協働センターまつり」へ参加【参加者 約100名】 食事バランスの基本、特に野菜の適量摂取を解説したパネル展示及び実物展示、生活習慣病・バランスの良い食生活のためのレシピ集などのパンフレット・リーフレットの配布、栄養相談	5

(9) 災害時栄養支援事業

静岡県栄養士会は、平成25年5月10日災害対策基本法第2条第6号に基づく「指定地方公共機関」の指定を受け、災害支援体制の整備構築を図っている。

会議開催 状 況	静栄DAT運営会議 第11回:5月20日 第12回:11月11日 (運営委員10名)	内 容	リーダー交流会の内容について スタッフ養成研修会の内容について JDA-DATリーダー養成研修会派遣について スタッフ管理について 地域でのDAT活動について リハビリ3団体との研修会(後援)開催について 第3回栄養士大会へのDATブース出展について		
静栄DATスタッフ登録		11月11日の研修会受講者に登録を呼びかけた。登録者数137名(平成30年3月31日現在)			
研修会への 派遣	第7回JDA-DATリーダー育成研修会	9月30日～10月1日	杉山貴紀 仲田早織 池谷広美	リーダー登録者数 17名(平成30年3月31日 現在)	

災害時栄養支援研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
11月11日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	災害時栄養支援スタッフ養成研修会		26
		JDA-DAT研修を受講して	静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生命科学科 准教授 市川陽子	
		HUG (避難所運営ゲーム)	静栄DAT運営委員	

2 収益事業

収 1 販売等の収益事業

特定保健指導用資料を販売した。

・100Kcal マメブック、目標シール、歩数計等

3 会の運営に関する事項

(1) 定時総会開催

開催日	会 場	出席会員数	議案事項
6月3日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	出席者 133名 書面による表決 658名 計 791名 (正会員総数 1,406名)	平成28年度事業報告承認の件 平成28年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 平成29年度事業計画の件 平成29年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件

(2) 理事会開催状況

開催日	会 場	出席人数	議事内容
第1回 4月23日	静岡県栄養士会事務所	21	平成28年度事業報告及び決算の承認について 平成29年度定時総会の運営について 静岡県栄養士会法人設立記念事業について 生涯教育研修計画について 8月4日（栄養の日・栄養週間）での広報イベント事業について 表彰候補者の推薦について 他
第2回 6月3日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	21	生涯教育基本研修科目のDVDによる学習方法に関するアンケートについて 生涯教育単位認定申請の承認について 指導者のための健康・栄養セミナーについて 栄養の日・栄養週間2017のイベント実施について 他
第3回 7月23日	静岡県栄養士会事務所	18	研修部平成29年度後期事業について フレイルチェック表について 東海北陸地区会長等合同会議について 静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会共催による合同研修会について 福祉寺子屋開催について 個人情報の取扱について 他
第4回 10月21日	静岡県栄養士会事務所	21	日栄 生涯教育の推進、基本DVDについて 静栄「栄養ケア・ステーション」の今後の運営について 栄養ケア寄り添い型ソリューション事業（よりソリプロジェクト）について 第3回静岡県栄養士大会について 平成30年度予算編成について 会員名簿の作成について お友達紹介制度の次年度継続について 次年度総会時におすすめメニューのコンテスト開催について 理事任期満了に伴う役員改選について 他
第5回 12月3日	静岡県栄養士会事務所	18	第3回静岡県栄養士大会について 平成30年度定時総会について 平成30年度生涯教育基本及び実務研修について 在宅介護者食生活支援研修会の平成30年度の計画について 災害支援県民普及事業の県民向けパンフレット配付について 平成30年度予算申請の取りまとめ状況について 第1回選挙管理委員会報告 他
第6回 1月20日	静岡県栄養士会事務所	19	日本栄養士会よりソリプロジェクト事業について 平成30年度の予算編成について 平成30年度研修計画について 栄養ケア・ステーション登録者の再調査と申請書（案）について 他団体主催研修会の生涯教育単位認定申請について 平成30～31年度役員、日本栄養士会代議員の選挙告示について 法人設立25周年記念事業についてについて 他
第7回 3月17日	静岡県栄養士会事務所	19	平成30年度事業計画及び予算案の承認について 平成30年度定時総会・講演会について 第4回静岡県栄養士大会（学術研究会及び交流会）について 平成30年度生涯教育基本及び実務研修について 平成30年度委託事業について 平成30年度の地区事業部について 法人設立25周年記念事業について 「栄養ワンダー2018」について 他

(3) 年間活動報告

①公益社団法人日本栄養士会定時総会

平成29年6月25・26日【会場：大阪】

出席代議員：坪井 厚、鈴木眞理子、岡本康子、新井英一、古橋啓子、若林恭子、寺田直哉

②公益社団法人日本栄養士会 諮問会議

第1回：平成29年5月13・14日 第2回：平成30年2月17・18日 【会場：東京】

出席者：坪井 厚

③東海北陸地区会長等合同会議

平成29年8月26日・27日【会場：名古屋】

出席者：坪井 厚、新井英一、日置朝子、鈴木眞理子

④公益社団法人日本栄養士会職域事業部全国代表者会議・研修会などへの派遣

職域名	開催日	開催地	名 称	氏 名	
医 療	4月22・23日	東京	病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	岡本康子	久保田美保子
	8月26日	名古屋	第1回東海北陸地区リーダー育成研修会	久保田美保子	渡邊美子
	2月3・4日	福井	第2回東海北陸地区リーダー育成研修会	岡本康子	古橋啓子
学校健康教育	11月24日	東京	学校健康教育部全国リーダー研修会	長谷川裕恵	
	11月25・26日	東京	学校健康教育部全国研修会	長谷川裕恵	
勤労者支援	2月8日	東京	「健康経営実践のための食と食環境整備のすすめ」～勤労者支援事業部生涯教育研修会～	(欠席)	
研究教育	1月27・28日	福岡	全国研究教育栄養士研修会及び研究教育部全国リーダー研修会	(欠席)	
公衆衛生	4月22日	東京	全国行政栄養士育成のための全国リーダー研修会	赤堀摩弥	
	10月28日	東京	公衆衛生事業部「基本研修・実務研修」	(欠席)	
地域活動	8月6日	神奈川	地域活動事業部スキルアップ研修会	若林恭子	池谷広美
	11月11日	三重	地域活動事業部東海北陸ブロック研修会	池谷広美	
	1月27・28日	東京	地域活動事業部全国リーダー研修会及び公衆栄養活動研究会	若林恭子	石垣範子
福 祉	10月21日	東京	全国福祉栄養士研修会	寺田直哉	
	1月28日	日栄	福祉事業部推薦委員会	寺田直哉	
	2月24日	東京	福祉事業部全国リーダー研修会	寺田直哉	

⑤他団体との連携（会長出席）

内 容	開 催 日			
静岡県給食協会総会、他	6/30	1/30		
静岡県健康づくり食生活推進協議会総会	5/23			
静岡県腎友会定期大会	7/2			
静岡県牛乳普及協会 料理コンクール審査、他	9/19	10/1		
地域包括ケア推進ネットワーク会議	10/6	12/18		
静岡県がん診療連携協議会支持療法部会	7/13	12/15	3/22	
静岡県健康福祉大会	10/25			
静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会	9/7	2/7		
ふじのくに健康会議ー日本健康会議in静岡ー	2/19			
8020推進静岡県大会、住民会議、部会	8/31	10/11	11/5	3/1
障がい理由とする差別解消推進県民会議	6/15			
静岡市食育推進会議	6/29	7/7		
静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会、部会	9/23	10/27	2/15	3/6
静岡県民の歯や口の健康づくり会議	2/7			
静岡栄養・代謝のつどい	3/10			
静岡県男女共同参画推進会議	8/29	11/7		

⑥表彰に関する事項

表彰日	項 目	内 容	受賞者	
6月3日	静岡県栄養士会	栄養指導業務功労者	飯塚和子	他18名
10月7日	静岡県知事	保健衛生功労者	吉田隆子	
		栄養指導業務功労者	今泉美津子	渡邊恵美子
8月7日	厚生労働大臣	栄養指導業務功労者	芹澤正江	関 明子
8月7日	日本栄養士会	会長表彰(25年業務貢献者)	鈴木充子	他6名
2月26日	日本公衆衛生協会	公衆衛生事業功労者	秋定千英美	

(4) 会員の状況 (平成30年3月31日現在)

①名誉会員 2名

②正会員 (会費納入人数)

継続会員	1,274名
新入会員	125名
計	1,399名

職域事業部別会員数〔※名誉会員は含まない。〕

医療	学校健康教育	勤労者支援	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
524名	95名	38名	46名	112名	262名	322名	1,399名

◎会員増に向けての取り組み状況

i 「メールマガジン会員制度」 (平成18年度から実施)
(再掲) メールマガジン登録者 758名 (平成29年度末)

ii 「お友達紹介制度」 (平成25年度から実施)
平成29年度 制度利用の入会者 18名

iii 「栄養士交流会」の開催
非会員にも参加を呼び掛け、県内東部、中部、西部の地区ごとに「交流会」を開催し、
栄養士会の運営及び事業等について理解を深めてもらい、入会を勧めた。
また、情報交換など交流を図り、仲間づくりの応援をした。

③賛助会員 64社

貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,176,047	13,551,956	2,624,091
未収金	1,215,000	800,000	415,000
貯蔵品	48,308	49,625	△ 1,317
前払金	119,238	0	119,238
仮払金	23,600	22,300	1,300
流動資産合計	17,582,193	14,423,881	3,158,312
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
災害支援積立預金	100,003	50,000	50,003
記念事業積立預金	1,712,600	1,660,971	51,629
特定資産合計	1,812,603	1,710,971	101,632
(3) その他固定資産			
什器備品	3	3	0
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	306,000	306,000	0
その他固定資産合計	378,803	378,803	0
固定資産合計	2,191,406	2,089,774	101,632
資産合計	19,773,599	16,513,655	3,259,944
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	7,818,500	4,256,000	3,562,500
預り金	3,221,000	5,673,580	△ 2,452,580
流動負債合計	11,039,500	9,929,580	1,109,920
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	11,039,500	9,929,580	1,109,920
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	8,734,099	6,584,075	2,150,024
(うち特定資産への充当額)	(1,812,603)	(1,710,971)	(101,632)
正味財産合計	8,734,099	6,584,075	2,150,024
負債及び正味財産合計	19,773,599	16,513,655	3,259,944

正味財産増減計算書

平成 29年 4月 1日 から平成 30年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	125,000	139,000	△ 14,000
受取会費			
正会員受取会費	13,281,000	13,243,000	38,000
賛助会員受取会費	1,905,000	1,935,000	△ 30,000
受取会費計	15,186,000	15,178,000	8,000
事業収益			
公 1	10,659,064	12,744,480	△ 2,085,416
公 2	0	32,000	△ 32,000
収 1	5,300	2,400	2,900
事業収益計	10,664,364	12,778,880	△ 2,114,516
受取負担金			
各研修会負担金	45,000	173,000	△ 128,000
受取寄付金			
受取寄付金	50,000	70,000	△ 20,000
雑収益			
受取利息	2,568	2,774	△ 206
雑収益	498,620	409,230	89,390
雑収益計	501,188	412,004	89,184
経常収益計	26,571,552	28,750,884	△ 2,179,332
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,190,077	4,042,075	148,002
福利厚生費	586,302	506,975	79,327
旅費交通費	2,916,197	3,156,230	△ 240,033
通信運搬費	1,052,812	983,013	69,799
消耗品費	892,510	1,045,296	△ 152,786
修繕費	65,026	79,098	△ 14,072
印刷製本費	233,690	461,874	△ 228,184
光熱水料費	43,677	65,245	△ 21,568
賃借料	699,020	585,892	113,128
保険料	79,954	79,441	513
諸謝金	7,246,994	9,160,625	△ 1,913,631
租税公課	544,800	255,340	289,460
支払負担金	25,429	208,024	△ 182,595
地代家賃	1,017,972	1,010,151	7,821
委託費	457,500	435,252	22,248
渉外費	54,982	82,885	△ 27,903
会議費	87,211	162,596	△ 75,385
雑費	51,015	35,404	15,611
事業費計	20,245,168	22,355,416	△ 2,110,248

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	1,864,948	2,037,505	△ 172,557
福利厚生費	260,955	464,236	△ 203,281
会議費	123,196	147,011	△ 23,815
渉外費	3,310	6,720	△ 3,410
旅費交通費	233,594	410,318	△ 176,724
通信運搬費	184,270	271,972	△ 87,702
消耗品費	79,693	134,128	△ 54,435
修繕費	32,174	40,026	△ 7,852
印刷製本費	2,074	81,394	△ 79,320
光熱水料費	21,610	33,015	△ 11,405
賃借料	210,068	257,884	△ 47,816
保険料	39,554	40,199	△ 645
諸謝金	5,000	5,000	0
租税公課	37,900	9,670	28,230
支払負担金	8,311	102,516	△ 94,205
地代家賃	503,664	511,161	△ 7,497
委託費	560,520	621,241	△ 60,721
雑費	5,519	7,161	△ 1,642
管理費計	4,176,360	5,181,157	△ 1,004,797
経常費用計	24,421,528	27,536,573	△ 3,115,045
評価損益等調整前当期経常増減額	2,150,024	1,214,311	935,713
当期経常増減額	2,150,024	1,214,311	935,713
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,150,024	1,214,311	935,713
当期一般正味財産増減額	2,150,024	1,214,311	935,713
一般正味財産期首残高	6,584,075	5,369,764	1,214,311
一般正味財産期末残高	8,734,099	6,584,075	2,150,024
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,734,099	6,584,075	2,150,024

平成30年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	58,533
	普通預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.12300-15650791)	同上	3,749,126
		郵貯銀行/名古屋貯金事務センター (No.00870-9-57832)	同上	7,460,000
		静岡銀行/呉服町支店 (No.1285838)	同上	2,744,068
	定期預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-12)	同上	2,164,320
	未収金	静岡県 しずおか健康幸惣菜レシピ募集等業務	29年度委託料	1,215,000
	前払金	手元保管	30年度保険料	119,238
	仮払金	手元保管	繰越納付済源泉所得税額	23,600
	貯蔵品	手元保管	郵便切手	40,872
		手元保管	栄養ケア・ステーションツール	7,436
流動資産合計				17,582,193
(固定資産)				
特定資産				
	記念事業	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-01)	記念事業として使用	104,007
	積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-02)	同上	104,007
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-03)	同上	102,252
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-10)	同上	100,200
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-11)	同上	901,801
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-13)	同上	100,160
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-14)	同上	100,150
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-15)	同上	100,020
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-16)	同上	50,003
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-18)	同上	50,000
	災害支援	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-17)	災害支援として使用	50,003
	積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-19)	同上	50,000
その他固定資産				
	什器備品		パソコン 他	3
	電話加入権		#282-5507 他	72,800
	敷金		事務所家賃敷金	306,000
固定資産合計				2,191,406
資産合計				19,773,599
(流動負債)				
	前受金		平成30年度静栄会費	7,818,500
	預り金		平成29年度静栄会費	9,500
			平成30年度日栄会費 他	3,211,500
流動負債合計				11,039,500
固定負債合計				0
負債合計				11,039,500
正味財産				8,734,099

監 査 報 告 書

公益社団法人 静岡県栄養士会

会 長 坪 井 厚 殿

平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日迄）の事業報告及び附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録及び附属明細書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

平成30年4月17日

公益社団法人 静岡県栄養士会

監事 紅林真佐代 

監事 秋本真志子 

第3号議案

役員選任の件

定款第13条、第22条及び第25条に基づく役員の任期満了に伴う役員の改選について

下記候補者の承認について諮ります。

理事（任期：平成30～31年度） 22名

定款細則第12条及び役員選任規程に基づく役員選挙結果（信任投票）による候補者氏名

（届出順）

		所属職域	会員番号	氏 名	住 所	勤務先
理 事	1	医療	201	坪井 厚	焼津市	
	2	研究教育	4466	新井英一	静岡市	静岡県立大学 食品栄養科学部
	3	地域活動	1845	木下初代	浜松市	
	4	研究教育	3133	末永美雪	静岡市	東海大学短期大学部
	5	学校健康教育	90115	大塚美和子	島田市	静岡県立吉田特別支援学校
	6	福祉	4407	田森稔浩	静岡市	デイサービス福助
	7	医療	599	久保田美保子	静岡市	(独法)静岡市立静岡病院 栄養管理科
	8	勤労者支援	4125	森下知代	静岡市	(財)静岡健康管理センター
	9	地域活動	1063	若林恭子	富士宮市	
	10	公衆衛生	2437	辻井博美	浜松市	静岡県西部健康福祉センター
	11	研究教育	2086	篠原啓子	富士市	日本大学短期大学部
	12	医療	604	鈴木恭子	静岡市	静岡県立こども病院 栄養管理室
	13	福祉	5203	芹澤利幸	伊豆の国市	介護老人保健施設 おおひら
	14	医療	1709	渡邊 潤	浜松市	浜松医科大学医学部附属病院 栄養部
	15	福祉	2521	寺田直哉	焼津市	介護老人保健施設 アボロン
	16	医療	1504	渡邊美子	熱海市	(医法)伊豆七海会 熱海所記念病院 栄養科
	17	地域活動	2362	上田規江	浜松市	
	18	地域活動	3627	池谷広美	沼津市	
	19	公衆衛生	2843	竹澤いずみ	掛川市	掛川市役所 健康福祉部
	20	学校健康教育	4667	伊奈恵子	浜松市	浜松市立蜷塚中学校
	21	勤労者支援	90175	矢ノ下聖子	函南町	陸上自衛隊駒門駐屯地
	22	地域活動	543	石垣範子	静岡市	

第4号議案

日本栄養士会代議員選任の件

本会定款細則第21条、日本栄養士会定款第6条及び同定款施行細則第7条に基づく代議員について

平成30年4月6日付の日本栄養士会からの通知により、代議員数は7名と決定しました。

よって、下記第7位までを代議員、第8位を補欠の代議員として承認することについて諮ります。

日本栄養士会代議員（任期：平成30～31年度） 7名

同 補欠代議員（任期：平成30～31年度） 1名

（得票順）

		所属職域	会員番号	氏 名	住 所	勤務先
	1	研究教育	4466	新井英一	静岡市	静岡県立大学 食品栄養科学部
	2	地域活動	1845	木下初代	浜松市	
	3	医療	201	坪井 厚	焼津市	
	4	医療	599	久保田美保子	静岡市	(独法)静岡市立静岡病院 栄養管理科
	5	地域活動	1063	若林恭子	富士宮市	
	6	学校健康教育	699	鈴木真理子	焼津市	
	7	福祉	4407	田森稔浩	静岡市	デイサービス福助
補欠		医療	1504	渡邊美子	熱海市	(医法)伊豆七海会 熱海所記念病院 栄養科

平成 30 年度公益社団法人静岡県栄養士会事業計画

I 基本方針

公益社団法人静岡県栄養士会は、すべての人の「自己実現をめざし健やかによりよく生きる」との県民のニーズに応え、保健・医療・福祉・教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通し公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業計画を立てました。

今年度の事業内容の特徴

- ・ 少子高齢社会から生まれる国民への負担を、食と栄養の科学的知識の啓発をもって、多職種と連携し、社会貢献するための事業を実施します。
- ・ 重点項目実現のため、就労する管理栄養士・栄養士が皆会員となるよう、魅力的な事業を展開し、会員数増加による組織力強化を図ります。
- ・ 会員が習得した知識を、社会で十分に発揮できるような研修会や情報交換会を企画し、管理栄養士・栄養士が、より多くの国民・県民の支持を頂ける事業を推進します。
- ・ 自然災害での食支援体制の構築に向け、日栄DAT並びに県防災対策室との連携強化を図ると共に、会員の支援活動への理解を深める事業を実施します。

II 重点項目

- 1 県民の健康の保持増進を目的に、0歳児から高齢者までライフステージに応じた栄養管理を支援します。また、その技術を習得するための講演会・研修会・勉強会を開催します。
- 2 栄養ケア・ステーションでは、安心して安全、且つ効率的に健康保持増進に役立つ食に関する知識を提供する管理栄養士・栄養士を紹介します。
 - ・ 健康保険組合の特定保健指導の推進に連携協力し、県民のメタボリックシンドローム（生活習慣病）の予防に努める管理栄養士の紹介を引き続き実施します。
 - ・ 県内各地区の医師会との契約締結を推進し、生活習慣病の重篤化予防のための栄養食事指導を行う管理栄養士を紹介します。
- 3 県・市町の健康づくり担当課等と連携し、県民の健康保持増進と疾病予防等の政策に協力します。
- 4 傷病者の病気回復、合併症予防、社会復帰支援等の病態栄養食事指導を行います。そのための最新情報の習得、科学的根拠に基づく食支援等の技術向上研修会を開催します。医療費の支出をできる限り減額とするための栄養管理と食支援を行います。
- 5 高齢者施設入所者の健康と身体機能の保持向上のため、高齢者個々人に合った栄養管理と食支援を目指します。介護保険料の支出を最小限に抑えるよう栄養管理と食支援を行います。また、その技術向上のための研修会を開催します。
- 6 関連職能団体との連携を深め、県民の健康保持増進と傷病者への支援、生活習慣病予防、高齢者の栄養管理など、県民が生きがいをもって生活できる社会の実現に資するための公益的な事業を推進します。
- 7 在宅療養者・居宅要介護者に対し、地域包括支援センターを中心とする関連職種と連携を図り、栄養管理と食支援の推進に努力します。
- 8 国・県・市町に対し、本会の目的である県民の食を介しての健康保持増進と健康寿命の延伸に資するため、必要な政策等の要望を提言します。
- 9 静栄DAT（災害支援チーム）組織強化のための会員研修・DATリーダー・スタッフの育成を推進します。

Ⅲ公益目的事業

公1	科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業
----	---

(1) 健康栄養知識普及事業

内 容	県内各市町で実施する健康まつり等のイベントで行う栄養教育全般(展示、栄養相談、講話等)について、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣することにより、望ましい食生活の知識普及や情報提供を行い、「食を通して人を育む」県民運動の推進に協力する。				
実施時期 ・回数	5月～2月 ・30回	会場	各市町保健センター等	参加予定人数	40,000人

(2) 健康づくり啓発協力事業

内 容	各種公共団体が実施する県民を対象とした講座・セミナー等に各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣し、食育を中心に、健康や食品に関する体験学習活動を実施し、健康づくりのための啓発事業に協力する。				
実施時期 ・回数	8月～3月 ・5～6回	会場	ツインメッセ等	参加予定人数	3,000人

(3) 在宅介護者への食生活指導講演会

内 容	超高齢化が進む中で、病院等における在院日数の短縮等により、在宅で療養する人が増加している。そこで、包括支援センター職員にも参加を呼び掛け、心身に障がいのある在宅者や介護者のQOLの向上を目指し、適切な栄養管理を支援するための講演会を開催する。				
実施時期 ・回数	11月 ・1回	会場	未定	受講予定人数	40人

(4) しずおか健康惣菜レシピ募集業務【静岡県健康増進課委託事業】

内 容	静岡県では、ふじのくに食育推進計画に基づき、重点施策としてライフステージに応じた望ましい食生活の実現を目指し、食の環境づくりを進めている。昨年度、新規委託事業により、社員食堂や弁当業者、スーパー等の惣菜等を利用している働き盛り世代に対し、望ましい食生活を実現できるよう「しずおか健康惣菜レシピ」を募集し、またそのレシピ集を作成した。本年度も同様の事業を行う。				
-----	---	--	--	--	--

(5) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

内 容	食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対し、栄養成分表示作成の説明と技術的な演習を行い、受講者が自ら栄養成分表示の作成ができるよう指導する。もって、不適正表示を未然に防止する。また、静岡県健康づくり食生活推進協議会会員を対象とする食品表示説明会に講師を派遣する。同協議会会員に情報提供することにより、会員から地域住民への周知を図る。事業実施3年目となる。 ①中小食品関連事業者対象講習会の講話とテキスト作成 県内3会場(東・中・西部 各1回) 対象者数:約450人 ②静岡県健康づくり食生活推進協議会会員への栄養成分表示等の説明と説明資料作成 年1回(6月) 対象者数:約300名				
-----	---	--	--	--	--

(6) 外食料理栄養成分表示推進事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

内 容	富士宮市内において、栄養成分表示店を増やすよう飲食店への啓発と指導を行うとともに、既存の栄養成分表示店には、表示のフォローアップ及び表示メニューを増やすことなどを指導する。特に、地場産品の食材を使用したメニューのある「地産地消登録店」を増やし、食のまちとしての活性化を図る。				
実施時期	4月～2月	会場	富士宮市内飲食店	実施予定店舗数	10店

(7) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	静岡県飲食業組合に加盟する店舗に対し、栄養成分表示の啓発と指導を行うことにより、県民の健康づくりや疾病予防の向上を図る。				
実施時期	5月～2月	会場	県内飲食店	実施予定店舗数	9店

(8) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	静岡県教育委員会と連携し、県内の高等学校の生徒を対象に、健康の保持・増進と生活習慣病予防のため、新しく作成した『健康な食事』について考える冊子を活用し、健康づくりにつながるような講話と調理実習を行う。 また、一般県民を対象とした栄養相談等において『健康な食事』について考える冊子を活用し、県民の健康増進の啓発を図る。				
実施時期	5月～2月	会場	静岡県内高等学校 10回	受講予定人数	300人

(9) 食生活と植物油栄養に関する講習会【日本栄養士会委託事業】

内 容	脂肪については、近年、健康の維持・増進、疾病との関わり、高齢者のADLの維持・向上の観点ばかりでなく、摂取する際の環境や食べ合わせ、時間との兼ね合いも科学的に証明されてきている。植物油栄養に関し、食の安全性、美味しさ等について、情報を適切に把握・整理し、食の専門家として、的確に伝えることができるよう、知識の習得の場とする。				
実施時期	12月	会場	あざれあ	受講予定人数	150人

(10) 健康づくり提唱のつどい【ヤクルト㈱委託事業】

内 容	ヤクルト㈱の協賛により実施し、健康に関する著名な講師を招き、専門知識を学ぶ場とする。				
実施時期・回数	8月4日 (栄養の日)	会場	サーラシティ浜松	受講予定人数	150人

(11) 栄養ケア・ステーション推進事業

内 容	急速な高齢化や生活習慣の変化により疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。このため、「健康日本21」に基づき、平成20年度から生活習慣病予防や保健指導等の実施に係る活動拠点として、全国の中でも、先進的に事業を進めている。事務局にコーディネーターを配置し、行政、医療機関、福祉施設、民間企業等から仕事を請け負い、登録会員に下記業務を提供しており、有料職業紹介事業所の資格も有している。 業務遂行のため、必要に応じて研修会を開催する。 ①特定保健指導 ②病態栄養食事指導 ③介護支援栄養指導 ④栄養相談、栄養指導 ⑤食育支援栄養指導(食育体験学習指導を含む) ⑥栄養価計算・成分表示指導 ⑦食や栄養に関する情報提供、資料作成				
-----	--	--	--	--	--

(12) 県民栄養調査に関する事業

内 容	県民の健康に関する様々な視点における栄養調査を実施し、結果をホームページ上に掲載する。平成30年度は、栄養調査の内容を検討する。
-----	--

(13) 広報事業

内 容	栄養士に関わる法律等は、目まぐるしく変化している。それらの情報をいち早く収集し、会員及び県民に情報提供するため、静岡県栄養士会はホームページ、メールマガジンを充実させてきた。今後は、より利便性を高めるためのシステムを構築することを検討していく。また、県民に対して「『栄養士会』が何をしているところなのか、また、管理栄養士・栄養士の仕事を身近に感じてもらう」ことを周知できるよう取り組みも検討し、社会認知、地位向上を図る。 ・ホームページ更新(月2回) ・メールマガジン配信(月2回) ・「栄養士のおすすめメニュー」募集、配信
-----	--

公2

県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 定時総会講演会

内 容	年1回の定時総会の基調講演を開催する。他職種にも参加を呼び掛け、国民の健康づくりの推進と資質向上、専門職としての自己実現、各職域の管理栄養士・栄養士が情報収集できる場を提供する。 わが国では、健康日本21(2000年)及び健康増進法(2003年)で、初めて本格的なヘルスプロモーション(WHP)の概念が導入された。WHPとは、「人々が自らの健康とその決定要因を自分自身でコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義している。しかしながら、健康を保持増進するためには、個人の努力だけでは非常に困難なことも多い。WHPにおいては栄養士がその専門性を活かし、重要な担い手となることが期待される。食を通じた健康支援の中での栄養士の役割を認識し、国民の健康の保持・増進に貢献できるよう努めたい。 演題「企業の健康経営と生活習慣病予防～組織のヘルスリテラシーを高めるために」				
実施時期 ・回数	6月9日	会場	あざれあ	受講予定人数	300人

(2) 栄養士交流会・フレッシュマン研修会

内 容	・静岡県栄養士会の活動を知る。 ・資質の向上にむけた研修会申し込み方法などを理解。 ・同じ分野、年代を越えて活動する管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報共有				
実施時期 ・回数	5月～12月 ・3回	会場	グランシップ等	受講予定人数	30人/回×3

(3) 静岡県栄養士大会(学術研究発表会及び交流会)

内 容	静岡県栄養士会独自の事業として、平成27年度より開催し、4回目となる。毎回種々な職場から100名を超える管理栄養士・栄養士が交流を図り、参加者からは良い刺激を受けたとの評価を得た。学会発表はハードルが高いと感じられる人には、本会からスタートし、自己研鑽を積み、質の高い管理栄養士・栄養士としてさらに飛躍するための場を提供する。平成30年度は更により多くの参加者を募り、会員の取り組みや成果を共有し、さらなる発展を目指す。				
実施時期 ・回数	2月	会場	中部地区	受講予定人数	120人

(4) 生涯教育基本研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持するための基本研修会を開催する。 栄養ケアプロセス等(講義及び演習)				
実施時期 ・回数	7月～1月 ・6回	会場	あざれあ等	受講予定人数	延べ 120人

(5) 生涯教育実務研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持するための実務研修会を開催する。 8月 「学校における食育の評価」お茶の水女子大学 赤松利恵先生 9月 「(仮)栄養ケアの役割」ちゅうざん病院 副院長 吉田貞夫先生 10月 「(仮)認知機能低下予防のための身体活動とその効果(コグニサイズ)」 国立長寿医療研究センター 土井剛彦先生 「(仮)高齢者の栄養」「(仮)栄養診断」 臨床栄養実践協会 理事長 足立香代子先生 11月 「(仮)地域に根ざした食育」 NPO法人こどもの森理事長 吉田隆子先生 未定 第4回静岡県栄養士大会(学術研究会&交流会) 【統計講座】 時期未定 「EZRによる統計解析をマスターしよう」日大 高橋敦彦先生 時期未定 「パワーポイントの作り方」日大 篠原啓子先生				
実施時期 ・回数	7月～2月 ・8回	会場	あざれあ等	受講予定人数	60～120人/回×8

(6) 福祉寺子屋

内 容	平成30年度は、介護報酬の改定、障害福祉サービス等報酬改定、保育所保育指針の適用が行われる。適切な対応ができるように、寺子屋形式の勉強会を開催する。				
実施時期 ・回数	4月～6月 ・3回	会場	静岡県栄養士会 事務所	受講予定人数	20人/回×3

(7) 地区別健康づくり推進事業

内 容	県内を9地区にわけ、各地区において小規模研修事業やイベントを企画運営し、地域に密着した県民の健康づくり支援を推進する。また、県内東部・中部・西部の3ブロックごとに研修会を開催し、会員の居住地の近いところで研修を受けることができるようにする。これにより、会員相互の情報交換、仲間づくりの機会とし、会員の継続入会や新規会員の増加をめざす。 ①東・中・西ブロック研修を企画・運営(年3回) ②各地区小規模研修を開催 ③地区別イベントの開催 ④県内で行われる大規模イベント等への出展協力 ⑤代表者会議やブロック別運営会議の開催 ⑥市町や県との事業への積極的参加により、栄養士会の理解及び周知				
-----	---	--	--	--	--

(8) 災害時栄養支援事業

内 容	予想される東海地震等災害発生時に備え、有事の際に直ちに県・市町に協力し活動できる組織(静栄DAT)の体制を強化するとともに、災害時における食支援に役立つ知識・技術の習得のための研修会を開催する。また、災害時には、関連職種との協働が重要であるため、日頃からの連携を深めるよう関連職能団体と合同で研修会を企画、開催する。 ①災害時栄養支援スタッフ養成研修会開催 1回(9月) ②静栄DAT運営委員会開催(5月・9月) ③JDA-DATリーダー育成研修会への受講者派遣 ④災害リハ合同研修会
-----	---

IV収益事業

収1	販売等の事業
内 容	特定保健指導に使用するツール、書籍等の販売を行う。

【 法人設立25周年記念事業 】

静岡県栄養士会は、昭和19年4月に発足し、その後の変遷を経て、平成5年3月30日に社団法人の認可を取得した。平成20年には公益法人制度改革施行となり、平成24年4月1日、公益社団法人の認可を取得した。

平成30年度は、法人設立から25周年の節目を迎えるため、記念事業を実施することとする。

事業内容：記念式典の開催、記念誌の発行など

V その他

(1) 事業部運営

① 職域事業部

職域事業部名	運 営 方 針
医 療	平成30年度診療報酬改定への各病院の対応を確認し、引き続き栄養食事指導の効果を検証する。地域包括ケアシステム構築に向けて、多職種共同による栄養管理体制を確立する。栄養情報提供書を活用し、在宅、施設からの入退院時に切れ目のない栄養管理が実施できる体制づくりについてエビデンスを構築する。
学校健康教育	小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校において、学校給食の栄養管理と食に関する指導を通して、幼児、児童生徒、県民の健康増進、生活習慣病予防に寄与する。
勤労者支援	働く人々を健康にする社会の実現に貢献、健康寿命延伸を推進する。また、一次予防・0次予防を推進し、健康で働く人々を増やし、元気な日本にするための仕組みをそれぞれの立場で一緒に提案していく。
研 究 教 育	県内5つの養成校の連携をより密に図り、栄養士会に対する学術面のサポートおよび、栄養士会への学生の参加なども検討し、体制を整備する。
公 衆 衛 生	生涯を通じた健康づくり・栄養改善推進のため、専門知識の普及に努め、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献することを目指す。
地 域 活 動	県民の健康づくりを支援するため、毎年、本会は県、市、関係団体からの委託事業を請け、「食育」「生活習慣病の予防」「飲食店栄養成分表示」などの業務を実施しているが、地域活動事業部会員はその大事な担い手となっている。このため、常に実践で活躍できる会員の育成を目指し、スキルアップ研修を企画、実施する。また、仲間づくりも重要であるため、会員同士の交流を図る。平成30年度は、地域包括支援センターの連携を図り、各地域の活動拠点となるよう栄養ケア・ステーションを展開し、他職種との連携を推進する。
福 祉	乳幼児から高齢者、障害者などを支える幅広い福祉職場の仲間との情報交換会の開催計画や質の高い栄養ケアが実践できるよう、ケアマネジメントに関する勉強会を計画し技術の向上を図る。また、会員同士の「つながり」の構築を目指し、会員増に取り組む。

② 研修部 運営方針

各種研修会や講演会の企画・立案・実行等の運営及び調整(生涯教育基本、実務、演習等)
 学術研究発表会の企画・立案・実行等の運営及び調整
 研修事業の情報共有・啓発活動
 認定管理栄養士・栄養士の書類認定審査の確認
 生涯教育の単位振替、自己研鑽の単位審査、修了証書の発行等

③ 地区事業部 運営方針

各地区の実情に即した研修会を企画・実施し、会員の資質向上および会員間の連携・交流を図る。
 また、地域密着型のイベントを企画・開催することにより、公益法人として県民の健康長寿の延伸に寄与する。

- ・代表者会議において、9地区の企画・運営の調整
- ・多職種協働で、市町の利点を活かしたイベントに参加協力し、他職種との連携を強化する。
- ・研修事業部と協力するなど、各地区のニーズに合わせた参加しやすい研修会を企画する。
- ・会員増に向け、管理栄養士・栄養士の身近な情報発信を行う。

④ 静栄DAT 運営方針

災害時に、栄養支援活動の出来る職能団体としての資質を保持し続けるため、日本栄養士会が実施するJDA-DAT、県災害対策室とも連携強化を図る。また、災害支援で活躍できるスタッフ養成に30年度も取り組む(現在登録スタッフは約140名)。県市町の地域防災計画が具体的に進む中、早急な対応が栄養士会にも求められており、更なるスタッフ養成の研修会を開催する。また、JDA-DATリーダー育成研修会への参加者増も積極的に進めていく。

⑤ 会員増対策委員会

数年来、会員数は減少傾向を示しているため、本年度も、県内養成校および保健所と連携して、新卒者を対象とした事業を展開する。特に、栄養士(管理栄養士)登録時に、入会案内パンフを配付する取り組みについて、今年度も継続して実施する。また平成28年度から新規に交流会を開催するなど、魅力ある栄養士会、研修会となるように企画しているが、本年度は並行して会員の退会を減ずる取り組みを講じていく。

⑥ 顕彰選考委員会

多年にわたり栄養改善事業に尽力され、功績があった会員が受賞から漏れることが無く、多くの会員に受賞していただくため、平成29年度「顕彰選考委員会」を発足させた。現行の静岡県栄養士会表彰規定(平成11年5月17日施行・平成11年1月30日一部修正)の改定に向け、他県栄養士会との歩調を合わせながら表彰候補者推薦規定として整備し、表彰候補者の抽出、推薦方法、推薦委員会の役割等を検討する。表彰の種類は多く、静岡県栄養士会会長表彰、日本栄養士会会長表彰はもとより、静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰、公衆衛生事業功労表彰等々多くの顕彰候補推薦依頼がある。

(2) 関連団体会議への委員等就任

① 静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内 容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、静岡県の健康増進計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

② 静岡県特定健診・特定保健指導推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内 容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を阻害する要因である糖尿病等の生活習慣病の該当者、予備群の減少を目指し、地域保健・職域保健関係機関との総合調整を図り、特定健診・特定保健指導のより効果的・効率的な実施について協議する。

③ 静岡県がん診療連携協議会支持療法部会

主催者	静岡県立静岡がんセンター
内 容	国は、拠点病院等における医療従事者間の連携を更に強化にするため、がんサポートボードへの他職種の参加を促しており、専門チーム(緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等)により、一人ひとりの患者に必要な治療やケアに関し連携強化を図るよう環境整備を推進している。静岡県のがん診療拠点病院における協議会の「相談支援」「緩和ケア」「支持療法」の3つの部会の中の「支持療法部会」に委員として参加している。

④ 静岡県男女共同参画推進会議

主催者	静岡県くらし・環境部男女共同参画課
内 容	家庭や地域、学校、職場など社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組をより一層強化するため、民間団体の主体的な取組を推進するためのネットワーク組織である。会議には、男女共同参画の趣旨に賛同する80の民間団体が加入し、研修会などの自主的な取組を行っている。

⑤ 静岡市食育推進会議

主催者	静岡市健康づくり推進課
内 容	食育基本法に基づき、静岡市食育推進計画の推進及び進行管理のため、市民や食育の推進に関係する団体が参加して協議する。

⑥ 静岡市在宅医療・介護連携協議会 部会

主催者	静岡市高齢者福祉課
内 容	静岡市の在宅医療及び在宅介護の連携の推進に関する事業計画の策定にあたり、必要な情報交換を行うとともに、計画に基づく取り組みを継続的に推進する。

⑦ 静岡県8020推進住民会議

主催者	静岡県8020推進住民会議(事務局:静岡県歯科医師会)
内 容	静岡県条例に基づき、8020推進運動をととして、県民の健康な生活を確保し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に寄与するため、8020推進員の育成及び様々な8020運動の普及啓発活動を実施する。

⑧ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

主催者	静岡県健康福祉部長寿政策課
内 容	県民が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるよう地域包括ケアシステムの構築を実現するため、医療・介護をはじめとする専門職の連携を強化し、市町における地域包括ケア推進体制の整備に繋げるため、地域包括ケア推進に関わりのある団体が意見交換する。

⑨ しずおか健康いきいきフォーラム21

主催者	公益財団法人 しずおか健康長寿財団
内 容	県民が心身共に健やかに暮らすことができる“ふじのくに”づくりに向け、県民総参加の「健康づくり県民運動」の推進を図り、県民の健康増進に寄与するため、県民への健康づくりに関する普及啓発活動や各種団体の交流、研修事業等を行う。

公益社団法人静岡県栄養士会平成30年度収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合 計	備 考
	公1	公2	共通	小計	取1	小計					
I 一般正味財産増減の部											経常収益計 26,158,500円
1. 経常増減の部											◆公益目的事業 19,817,000円
(1) 経常収益											I 公1経常収益計 9,372,000円
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 事業収益 9,382,000円
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1) しずおか健康増進センター事業業務(県委託) 800,000円
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2) 食品表示適正化・活用普及事業(県委託) 800,000円
特定資産取戻金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3) 外食栄養成分表示推進事業(富士宮市フード・レシー協賛) 600,000円
受取入金	0	0	63,000	63,000	0	0	0	63,000	0	126,000	4) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業(生活衛生営業指導センター委託) 240,000円
取入金	0	0	63,000	63,000	0	0	0	63,000	0	126,000	5) 元気を元々める外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 400,000円
受取会費	0	0	9,987,000	9,987,000	0	0	0	5,358,000	0	15,345,000	6) 食生活と植物油栄養に関する講習会(日本栄養士会委託) 350,000円
正会員取込会費	0	0	8,037,000	8,037,000	0	0	0	5,358,000	0	13,395,000	7) 健康づくり推進のつとめ(ヤクルト委託) 400,000円
賛助会員受取会費	0	0	1,950,000	1,950,000	0	0	0	0	0	1,950,000	8) 栄養ケア・ステーション推進事業 5,500,000円
事業収益	9,382,000	0	0	9,382,000	10,000	10,000	10,000	660,000	0	10,032,000	9) 広告掲載収入 272,000円(バナー広告料)
栄養改善、健康づくり等事業収入	2,200,000	0	0	2,200,000	0	0	0	0	0	2,200,000	2 雑収益 10,000円
疾病予防、食生活改善及び食育等事業	1,390,000	0	0	1,390,000	0	0	0	0	0	1,390,000	展示コマ代 @5,000円×29社
栄養ケア・ステーション・他販売事業	5,500,000	0	0	5,500,000	10,000	10,000	10,000	0	0	5,510,000	(地区研修2社、プロック研修3社、栄養士大会12社、生涯教育基本3社、生涯教育実務8社、災害時栄養支援研修1社)
広告掲載料収入	272,000	0	0	272,000	0	0	0	660,000	0	932,000	2 雑収益 145,000円
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	展示コマ代 @5,000円×29社
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(地区研修2社、プロック研修3社、栄養士大会12社、生涯教育基本3社、生涯教育実務8社、災害時栄養支援研修1社)
受取負担金	0	250,000	0	250,000	0	0	0	0	0	250,000	Ⅲ 共通 10,050,000円
受取負担金	0	250,000	0	250,000	0	0	0	0	0	250,000	1 受取入金金 63,000円(新入会員@1,000円×63人)
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 受取会費 9,987,000円(正会員費8,037,000円、賛助会費、1,950,000円)
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	◆収益事業経常収益計 10,000円
雑収益	10,000	145,000	0	155,000	0	0	0	250,000	0	405,000	販売等の事業 10,000円
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000	◆法人会計経常収益計 6,331,500円
雑収益	10,000	145,000	0	155,000	0	0	0	245,500	0	400,500	1 受取入金金 63,000円(新入会員@1,000円×63人)
経常収益計	9,372,000	395,000	10,050,000	19,817,000	10,000	10,000	10,000	6,331,500	0	26,158,500	2 受取会費 5,358,000円(正会員費)
											3 広告掲載収入 660,000円
											(会員名簿広告料320,000円、法人設立25周年記念誌広告料300,000円、封筒広告料40,000円)
											4 雑収益 250,500円

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		法人会計	内訳取 引控除	合 計	備 考
	公1	公2	共通	小計	取1	小計				
(2)経常費用										経常費用計 27,458,000円
事業費	16,490,728	3,911,323	0	20,402,051	162,110	162,110		0	20,564,161	◆公益目的事業 20,402,051円
材料費	0	0	0	0	1,000	1,000		0	1,000	I 公1経常費用計 16,490,728円
給料手当	3,542,178	708,437	0	4,250,615	47,228	47,228		0	4,297,843	1) 健康栄養知識普及事業 552,491円
福利厚生費	452,550	90,510	0	543,060	6,034	6,034		0	549,094	2) 健康づくり啓発協力事業 282,720円
会議費	0	61,000	0	61,000	0	0		0	61,000	3) 在宅介護者への食生活指導講座 150,110円
旅費交通費	1,370,500	1,640,820	0	3,011,320	6,860	6,860		0	3,018,180	4) しずおか健康栄養センター栄養業務(県委託) 1,016,842円
通信運搬費	908,500	131,320	0	1,039,820	6,860	6,860		0	1,046,680	5) 食品表示適正化・活用推進事業(国委託) 1,148,146円
減価償却費	0	0	0	0	0	0		0	0	6) 外食栄養成分表示推進事業(富士宮市フードハレー協委託) 788,406円
研究研修費	0	0	0	0	0	0		0	0	7) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業(生活衛生営業指導センター委託) 428,406円
消耗品費	824,250	162,220	0	986,470	2,310	2,310		0	988,780	8) 元気を元々つめる外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 567,350円
修繕費	62,500	13,400	0	75,900	700	700		0	76,600	9) 食生活と廃棄物栄養に関する講習会(日本栄養士会委託) 536,339円
印刷製本費	129,375	2,010	0	131,385	105	105		0	131,490	10) 健康づくり提唱のつどい(ヤクルト委託) 536,339円
広報費	0	0	0	0	0	0		0	0	11) 栄養ケア・ステーション推進事業 8,346,944円
光熱水料費	40,000	8,576	0	48,576	440	440		0	49,024	12) 県民栄養調査に関する事業 140,110円
賃借料	536,250	308,460	0	844,710	4,830	4,830		0	849,540	13) 広報事業 2,074,962円
地代家賃	950,625	203,814	0	1,154,439	10,647	10,647		0	1,165,086	II 公2経常費用計 3,911,323円
諸謝金	7,312,125	444,670	0	7,756,795	35	35		0	7,756,830	1) 定時総会講演会他各種研修会 2,052,627円
租税公課	268,125	57,486	0	325,611	74,003	74,003		0	399,614	2) 地区別健康づくり推進研修会 991,603円
保険料	75,000	16,080	0	91,080	840	840		0	91,920	3) 生涯教育基本研修会 430,861円
渉外費	6,250	59,840	0	66,090	70	70		0	66,160	4) 災害時栄養支援研修会 436,232円
支払前入金	0	0	0	0	0	0		0	0	◆収益事業費用計 162,110円
委託費	0	0	0	0	0	0		0	0	販売等の事業 162,110円
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0		0	0	◆法人会計経常費用 6,893,839円
雑費	12,500	2,680	0	15,180	140	140		0	15,320	(法人設立25周年記念事業費含む...記念誌発行、記念式典開催経費等)

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合 計	備 考
	公1	公2	共通	小計	取1	小計				
管理費							6,893,839	0	6,893,839	
役員報酬							0	0	0	
給料手当							2,449,157	0	2,449,157	
退職給付費用							0	0	0	
福利厚生費							312,906	0	312,906	
会議費							130,000	0	130,000	
旅費交通費							479,320	0	479,320	
通信運搬費							429,320	0	429,320	
減価償却費							0	0	0	
消耗品費							177,220	0	177,220	
修繕費							23,400	0	23,400	
印刷製本費							1,433,510	0	1,433,510	
広報費							0	0	0	
光熱水料費							14,976	0	14,976	
賃借料							361,460	0	361,460	
地代家賃							355,914	0	355,914	
諸謝金							1,170	0	1,170	
租税公課							100,386	0	100,386	
保険料							28,080	0	28,080	
交際費							2,340	0	2,340	
委託費							590,000	0	590,000	
有価証券運用損							0	0	0	
雑費							4,680	0	4,680	
經常費用計	16,490,728	3,911,323	0	20,402,051	162,110	162,110	6,893,839	0	27,458,000	

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合 計	備 考
	公1	公2	共通	小計	取1	小計				
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,118,728	△ 3,516,323	10,050,000	△ 585,051	△ 152,110	△ 152,110	△ 562,339	0	△ 1,299,500	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 7,118,728	△ 3,516,323	10,050,000	△ 585,051	△ 152,110	△ 152,110	△ 562,339	0	△ 1,299,500	
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計繰越額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 7,118,728	△ 3,516,323	10,050,000	△ 585,051	△ 152,110	△ 152,110	△ 562,339	0	△ 1,299,500	

事業 年度	自	平成30年4月1日	法人コード	A005293
	至	平成31年3月31日	法人名	公益社団法人静岡県栄養士会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定	なし		
事業番号	借入先	金額	使途
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定	なし		
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法又は 取得資金の使途
		円	